ま　え　が　き

いよいよ2020東京オリンピック・パラリンピック開催の年を迎えました。令和元年11月には新国立競技場が完成し、開催に向けた機運が徐々に高まってきています。中でもスポーツクライミングはメダル獲得が期待される注目競技であり、日本国中の熱い声援と日本山岳・スポーツクライミング協会の万全なサポートのもと、選手の皆さんが夢の実現に向け素晴らしいパフォーマンスを発揮されますことを祈念いたします。

さて、国立登山研修所では平成３０年度からスタートした第４期中期計画の２年目の事業が終了しました。滋賀、福岡、東京の３会場で開催した安全登山サテライトセミナーには計４７７名が参加し、安全登山教育に対するニーズの高さを目の当たりにしました。９月には消防庁委託事業の山岳遭難救助技術研修会を初開催し、４０名の山岳救助指導者を育成することができました。登山研修所が積み重ねてきた山岳救助に関するノウハウが救助現場の方々に求められている事を知り嬉しく思いました。

一方で、１０月には神戸市での安全登山指導者研修会（西部地区）の開催日に台風１９号が日本へ接近し中止を余儀なくされただけでなく、新型コロナウイルス感染拡大により講師研修会及び登山リーダー冬山研修会も中止となり、山あり谷ありの１年となりました。

登山に関する情報提供の大きな柱の一つである「登山研修vol.35」は令和になり初めての発刊であります。登山界の現状や課題、海外登山記録の紹介、調査研究やデータ分析、様々な登山情報を読者が共有し、お互いに研鑽することで安全で楽しい登山を実践できることが「登山研修」の魅力であります。より多くの皆様に読んでいただくことを期待しております。

末筆になりましたが、お多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和２年３月

国立登山研修所長　藤　原　　洋

目　　次

1．登山に関する調査研究

⑴　しなやかに登るアイスクライミングの提案 …… 安達ナオコ …… 1

⑵　リスクを伴うフリークライミングにおけるメンタルコントロールの重要性について：称名滝フリーソロの例 … 中嶋徹 …… 6

⑶　スポーツクライマーに対する栄養サポートの実践例 …… 長迫凪
西谷善子 …… 11

⑷　日本の現存氷河の概要 …… 飯田肇 …… 16

2．登山界の現状と課題

⑴　山岳地帯でのドローン活用について現状と展望 …… 近藤幸夫 …… 24

⑵　ロープクライミング中の重大事故の傾向と対策について
～フリークライミングインストラクターから見た私的見解と対策～ … 長門敬明 …… 30

⑶　山岳看護視点による高校登山安全管理サポート
～高校登山競技での『体調振り返りシート』導入を試みて～ …… 浦川陽子 …… 34

⑷　長野県の学校集団登山の現状と安全管理 ― 山岳医の立場から ― … 千島康稔 …… 42

3．海外登山記録

⑴　2019年パタゴニアでのパートナー救出活動について …… 横山勝丘 …… 48

⑵　世界のおもな登山記録2019 …… 池田常道 …… 60

⑶　ラカポシ南壁新ルート登攀におけるタクティクス …… 中島健郎 …… 81

⑷　2019インドヒマラヤ・メントーサ峰 …… 和田淳二 …… 85

4．その他

⑴　大韓民国国立公園管理公団北漢山生態探訪研修院との交流事業を通じて … 櫛引知弘 …… 91

⑵　鉄砲水からの生還 …… 小倉直宗 …… 98

⑶　保育園児の集団登山 ～ 山の子保育園の登山への関わり ～ …… 山の子保育園長 …… 103

⑷　中高年登山者の安全登山のための体力評価 ― 丹沢塔ノ岳での試み ― … 高橋昌嗣 …… 107

5．既刊「登山研修」索引